

## 2023 年度の予定

### ■ 2023 年度 JISS(日本宇宙安全保障研究所)定時社員総会

- 1 日程：2023 年 **6 月 15 日(木)** 13:30~15:30
- 2 場所：「**全国市長会館**」 2F 大ホール B  
東京都千代田区平河町 2 - 4 - 2 (Tel: 03-3262-5231)
- 3 議事：第 1 部 定時社員総会 (約 45 分)  
第 2 部 講師 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 坂口審議官  
**講演テーマ「宇宙安全保障戦略について(仮)」** (約 45 分?)

### ■ JISS 主催「宇宙に関する安全保障シンポジウム」(第 6 回)

- 1 日程：2023 年 **11 月 30 日(木)** 13:00-17:30
- 2 場所：「衆議院第一議員会館」 1F **国際会議室**(定員 104 名)と**多目的ホール**(定員 198 名)
- 3 議事：**主要テーマ及び討論参加者(司会者・討論者)** に関し、**検討中**  
(コロナ感染状況によりますが) 終了後、同会場にて「懇談会」開催予定

### ■ 調査研究に関する事項

#### (1) JISS 勉強会

森本会長、今津理事長、片岡副理事長を中心に JISS 役員、研究員による勉強会を開催。

- ・宇宙安全保障構想策定に向けた提言
- ・2023 年 # 5 シンポジウムについて議論
- ・米国政府及び企業関係者と意見交換
- ・ウクライナ教訓の整理及び情報発信等

#### (2) 宇宙安全保障戦略研究会

1. プロジェクト名：「宇宙・サイバー・認知領域の安全保障」
2. 期間：2023 年 4 月 1 日~2024 年 3 月 31 日
3. メンバー(計 9 名程度)：現在調整中、JISS 側(神山、後藤、長島) 3 名を含みます。
4. 計画：
  - (1) 顔合わせ(未定) 4 月
  - (2) 第 1 回研究会 5 月 1 日(月) 講師：楊俊清 台湾国立サイバーセキュリティ研究所(NICS) 所員
  - (3) 第 2 回研究会 9 月(未定) 講師 片岡副理事長(案) ※以降、3 ヶ月に 2 回の計画で研究会実施
  - (4) 第 3 回研究会 10 月または 11 月(未定)

- (5) 第4回研究会 12月 公開シンポジウム（会員対象、一部公開）
- (6) 第5回研究会 1月または2月（未定）
- (7) 最終研究会 3月 総括 ※4月提言等公表

#### 5. その他

- ・数年（3年程度）継続事業を想定することも可能
- ・他の国内研究機関との共催も検討
- ・海外研究機関（CSIS、ASB、ヘリテージ財団等）との共催による外部シンポジウムの開催も視野に入れる

### (3) MD 研究会

#### 1. 2023年度も引き続き宇宙システム及びその開発の全体像の共有を目指し

- (1) 迫りくる有事に対する状況認識の更新
- (2) ミサイル防衛のための「宇宙システム」保有の必要性のアピール
- (3) 我が国としての「宇宙システム」構築への取り組みを推進する。

#### 2. テーマについては、以下の22年度の間報には含めることができなかった①不透明さを増す東アジア情勢②ミサイル防衛に求められる宇宙システムの内容 についての検討と報告書作成に向けての整理を中心に実施する。特に、①項については、昨年未の防衛3文書で、中国の脅威、反撃能力の保有等が大きく位置付けられたことを踏まえ、その深掘りを行う。

#### 3 研究活動は、前年度の分科会方式、ホームページ、チャットツールの活用を継続する。

また、研究レポートについては、まずは①項についての報告を速やかに行うべく、年内発行を目途に活動を行う。

### (4) IT 研究会

#### 1. AI 技術

##### ア AI 技術動向の把握

AI 技術の最新動向を追跡しその情報を共有することで、最先端の AI 技術により安全保障環境に係る影響について最新の情報を持ち続けるようにしています。

##### イ AI 活用に関する調査・啓蒙

AI 技術がどのように安全保障に貢献するのか、またそれをどのように活用することができるのか、調査を行い、その成果を啓蒙活動で共有する予定です。

#### 2. 量子コンピューティングについても積極的に取り組んでいます。当研究会は、以下のような活動内容を行っています。

##### ア 技術の普及・啓蒙

当研究会では、新しい技術についての理解を深めることを目的として、勉強会を開催しています。量子コンピューティングについても、基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。

##### イ ユースケースの具体化

量子コンピューティングは、様々な分野で応用される可能性があります。当研究会では、実際にどのような場面で活用できるのか、有効なユースケースを具体的に検討しています。

##### ウ 安全保障上の脅威内容の具体化

量子コンピューティングによって、安全保障にどのような脅威が存在するのか、当研究会では綿密に調査しています。また、その脅威に対する対策も検討しています。

### 3. 量子暗号通信

量子暗号通信技術の潜在的な応用と重要性を研究し、社会実装に関する相談に対応しています。

### 4. サイバー安全保障

#### ア 武力紛争法に関する論点の具体化に向けた研究活動

最近では、国際社会においてサイバー攻撃が増加し、それに対する対応策が求められています。IT 研究会では、武力紛争法に関する研究を進め、それを具体化することで、紛争手段としてのサイバー攻撃に対する対応策に貢献しています。

#### イ サイバー安全保障と国際法に係る啓蒙活動

サイバー攻撃による被害は、個人や企業にとどまらず、国家レベルでの被害も想定されます。IT 研究会では、サイバー安全保障と国際法に関連する啓蒙活動を展開し、より多くの人々がサイバー攻撃に対する危機感を持ち、適切な対策を取ることができるように努めています。

## (5) 産業委員会

民間企業の宇宙事業への参画に向けて、様々な角度から貢献していきたいと考えています。

そのため、宇宙安全保障研究会やその他の研究会で議論された内容を企業の皆様に情報発信していくとともに、四半期に 1 回程度産業委員会を開催し、企業の皆様の意見を施策等に反映して参ります。

また、JISS の情報発信充実に向けて、産業委員会にて HP の検討を実施し、適宜反映して参ります。